

一般教育総合コース

# 現代における自由と進歩

(その一)

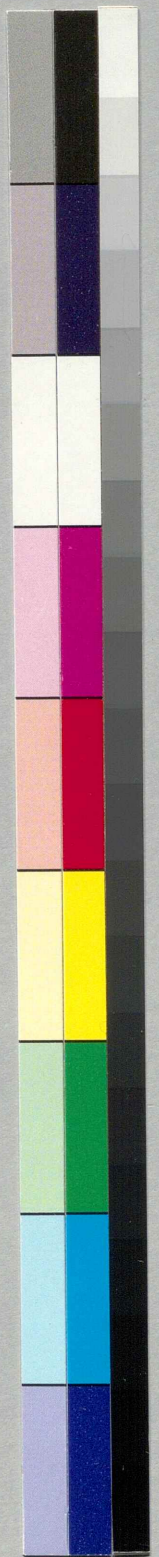
昭和34年度



お茶の水女子大学

6 7 8 9 140 1 2 3 4 5 6 7 8 9 150 1 2 3 4 5 6 7 8 9 160 1 2 3 4 5 6 7 8 9 17

2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5 6 7 8



# プロローグ 学習上の手引

## 1. 一般教育と総合コース

一般教育の目的は、将来専門科学の学修に進むべき諸君の系統的知識の把握、事実と理論の関連の解明、思考力と鑑賞力の涵養、社会的判断力の養成に資し、将来各自の専門分野を超えた市民としての責任を果たす能力を育成せしめるにある。

そのためには、教授も学生も共に一般教育の課題と方法について十分な考慮を払わなければならない。人文、社会、自然科学の三系列に岐れ、さらに各系列毎に専門分化が行われている現行の一般教育は、諸君が自己の専門とすべき科目以外のものを学修するという便益があり、また将来の専門学科の基礎学として役立つ効果がある。しかしその向、総合性が欠如している憾があって一般教育の目的に十分とっているとは言いがたい。そこで、31年度から、ここに一案として人文、社会及自然科学にわたる一般教育「総合コース」を試みようとする。

一般教育の目的に鑑み、その総合性を確保しうる課題としては、人類の形成した偉大な文明、例えばギリシヤ・ローマ文明、近代文明及び現代世界、東西文明の比較、現代社会における人間の諸問題等が考えられる。31年度は、最初の試みとして、ギリシヤ・ローマ文明を取り上げた。32年度は、オ二回として「近代社会と人間」をとりあげ、33年度は「現代社会の動向と人間関係」を課題としたが、この年度は「現代における自由と進歩」を課題とする。

## 2 総合コースの内容と方法

この総合コースは、わが国での唯一の試みであり、かつ単位時

向の制約もあるので、エキスペリメントの域を脱し得ない。しかし、事情の許す限り、課題の分担について総合性を発揮しようように考慮した。時間はAコース計60時間(毎週1回2時間)、Bコース計120時間(毎週2回2時間宛)を適当に配当し、教材、参考書及び聴視覚資料等についても極力諸君の便宜を企りたい考えである。

なお、適当の時期、例えば夏休み前および全講義終了後に、諸君の共同研究のためのセミナーを開きたい。できるだけ自主的にかつ共同的に学修研究をすすめるようにしたい。

(備考)

なお、この冊子「その一」に引続き、近く「その二」を作成配付する。授業日時刻も別途配付するが、その日時刻順序は、必ずしもこのシラバスの記載順序通りとはならない。

一般教育 総合コース  
——現代における自由と進歩——

- 総説 (Aコース・Bコース共通) ..... 蠟 山
- Aコース (オ一年生向)
  - オ一 歴史過程における現代 ..... 尾 銅
  - オ二 現代における社会思想 ..... 蠟 山
- Bコース (オ二年生向)
  - オ一 現代の課題とその解決 ..... 蠟 山
  - オ二 歴史過程における現代 ..... 尾 銅
  - オ三 現代詩の表現について ..... 鍋 島
  - オ四 哲学的世界観より見たる自由と進歩 ..... 藤 田

課題項目 (担当者)

○ 総説 (2回) 蛭山政道  
(Aコース・Bコース 共通)

1. 現代の一般的考察

- イ. 世界史における現代の特徴
- ロ. 現代の当面する問題とその性質
- ハ. 資本・労働・民族・科学技術・教育・文化
- ニ. 民主主義と世界平和の将来

2 現代における自由と進歩の問題

- イ. 自由と権力の問題
- ロ. 進歩と変革の問題
- ハ. 自由と進歩との関係
- ニ. 現代における人間の条件

(参考文献)

Columbia University, *Man in a Contemporary Society*,  
2 vols. 1956

J. A. Lawerys, *Morals, Democracy and Education*.  
(ミヤザキヒロシ訳, 道徳, 民主主義, 教育)

岩波書店 現代思想 時にオ+巻と別巻

K. Mannheim, *Man and Society in a Age of Reconstruction*, 1940

H. Laski, *Reflections on the Revolution of Our Time*, 1942.  
(蛭原美子訳, 現代革命の考察 上・下)

S. Neuman, *The Future in Perspective*, 1946  
(曾村保信, 現代史, 上・下)

E. From, *Escape from Freedom*, 1941  
(日高六郎訳, 自由からの逃走)

——, *Man for Himself*, 1947  
(早坂・谷口訳 人間における自由)

——, *The Sane Society*, 1955  
(佐瀬・加藤訳 正気の社会)

J. A. Schumpeter, *Capitalism, Socialism and Democracy*  
1942.  
(京畑・中山訳, 資本主義・社会主義・民主主義 三巻)

B. Russel, *New Hopes for changing World*, 1951

J. B. Conant, *On Understanding Science*, 1951

——, *Modern Science and Modern Man*, 1952

Karl Jaspers, *Gegenwart und Zukunft (Zum Ursprung  
und Ziel der Geschichte, Zweiter Teil*, 1952)

Togynbee (ed. Somervell), *A Study of History*, 1957  
(長谷川松治訳, 続歴史の研究)

=====

○ Aコース (オ一年生向)

オ一. 歴史過程における現代 (3回)

尾 鍋 輝 彦

1. 現代の出発点についての諸説とその意味

- a. フランス革命とする説
- b. 帝国主義成立期とする説
- c. オ1次世界大戦終結とする説
- d. ロシア革命とする説
- e. オ2次世界大戦終結とする説

2 現代史研究における党派性と客観性

- a. 歴史記述と史料の選択
- b. 西欧的民主主義の厂史家
- c. マルクス主義厂史家
- d. 日本の厂史家

3. 19世紀末以後の厂史の流れは、どのように整理したら理解しやすいか。

(参考書)

講師の考え方を知らるためのものとして

尾 鍋 輝 彦 「西洋史概説, 下巻」  
 ♪ 「現代に対する厂史的背景」 (現代世界地理全集1)  
 ♪ 「ヨーロッパの文明と厂史」 (世界地理オ5巻)  
 ♪ 「近代の原理とアジア」 (思想, 昭和32年5月号)  
 ♪ 「独 裁 者」

その他の書

「世界史大系」  
 J. H. ジャクソン著, 町野武, 渡辺敏訳  
 「戦後の世界」 (現代史大系8)  
 現代史大系編集部編「現代史年表」  
 Eugene N. Anderson, *Modern Europe in World Perspective*  
 D. Thomson, *Europe since Napoleon*  
 トムソン著, 中野好夫, 中村英勝訳  
 「現代の世界」

オニ 現代における社会思想 (5回)

蛸山政道

1. 現代社会の特徴
2. ナショナリズムの構造的変化
3. 産業革命と自由主義の終焉
4. 社会主義思想の種々相
5. 民主主義のディレンマとその課題

(参考文献)

岩波書店 現代思想 十巻と別巻  
 金子武蔵編 思想 (らいぶらりい・しりいず)  
 江口朴郎 歴史の現段階  
 南原 繁 現代の政治と思想  
 長洲一ニ 現代マルクス主義論  
 G.H. Sabine, *A History of Political Theory*, 1950.

(以上の外、総説の部参照)

○ Bコース (オニ年生向)

オ一 現代の課題とそれの解決 (5回)

蛸山政道

1. 現代における危機現象 —— 戦争と革命
2. ファシズムの運命と共産主義の将来
3. 二つの世界と平和的共存 —— その条件
4. 人間の条件としての民主主義 —— 自由の計画
5. 国際関係の変革 —— 世界政府への道

参考書

(総説の部参照)

才二. 歴史過程における現代 (9回)

尾 銅 輝 彦

1. 進歩についての諸説

- a. 啓蒙主義
- b. Ranke
- c. 進化主義的史観
- d. マルクス主義

2. 先進、後進の意味

- a. 近代以前の例
- b. 世界史発展の不均衡
- c. いわゆる「二つの民主主義」

3. 19世紀末以後の世界史

- a. 才1次世界大戦まで
- b. 才1次世界大戦終結～才2次世界大戦
- c. 才2次世界大戦終結以後

参考書

- 尾 銅 輝 彦 「西洋史概説、下巻」
- ” 「近代的原理とアジア」 (思想 32年5月号)

才三. 現代詩の表現について (5回)

銅 島 能 弘

- (1) 純粹詩の頹廃 —— 従来、詩の本質と考えられたもののなかに含まれた矛盾の発見。(Stephen Spender: *The Making of a Poem* と R.P. Warren: *Pure and Impure Poetry*)
- (2) 実験的傾向 —— 口語詩と自由詩の問題を中心とし、英仏の象徴詩、アメリカのイマジズムの詩、日本の自由詩の問題。(Y. Winters: *The Experimental School in American Poetry*)
- (3) 詩の原理と自由 —— アリストテレスやポウの詩論との対決。
- (4) 新しい詩の解釈 —— 詩の研究と批評に関する自由。ミルトンの詩「リシダス」及びワースワスの詩「テンタン寺院」の解釈と鑑賞の方法。(Paul Elmer More: *How to Read "Lycidas"* と J. A. Richards: *Science and Poetry*)
- (5) 結 論

(注) 以上のカッコ内に掲げた参考論文は皆、Mark Schorer, J. Miles & Gordon McKenzie (ed.): *Criticism - The Foundations of Modern Literary Judgment* (1948. 批評論集) の中に含まれているので、本書を参照することが便利であり、また Derek Hudson (ed.): *English Critical Essays (Twentieth Century) 2nd Series* (1958. イギリス批評論集) のよい参考になる。

才四、哲学的世界観より見たる自由と進歩 (6回)

藤田 健治

1. 人間的自由の概念
  - a. 外面的自由と内面的自由
  - b. 偶有的自由と本質的自由
2. 厂史的進歩の概念
  - a. 個人的進歩と集団的進歩
  - b. 進歩の行われる諸領域と諸々相
3. 近代哲学に現われた自由と進歩の概念
  - a. ピコ・デラ・ミランドラ
  - b. ルソーとカント
  - c. ヘーゲル
  - d. フォイエルバハとマルクス
  - e. ダーウィニズム
  - f. コントとミル
  - g. ランケとブルクハルト
  - h. ニイチェ
4. 現代哲学における自由と進歩の取扱い方
  - a. マルクス主義と実証主義
  - b. カント主義
  - c. 厂史主義
  - d. 実存主義
5. 自由と進歩についての本質的考察
  - a. 自由と必然
  - b. 進歩と繰り返し
  - c. 人間的創造と厂史的究極目標

参考書

Pico, *Oratio de hominis dignitate* (人間の尊厳について)  
 Kant, *Kritik der praktischen Vernunft*. (実践理性批判)  
 Hegel, *Philosophie der Geschichte*. (厂史哲学)  
 Burckhardt, *Weltgeschichtliche Betrachtungen* (世界史的考察)  
 Nietzsche, *Vom Nutzen und Nachteil der Historie für das Leben*.  
 (厂史の生に対する利害)  
 Dilthey, *Der Aufbau der geschichtlichen Welt in den geistes-  
 wissenschaften* (精神科学における厂史的世界の構造)  
 Jaspers, *Philosophie*, Bd. II, *Existenzerhellung* (実存哲学)  
 Löwith, *Weltgeschichte und Heilsgeschehen* (世界史の救済)  
 Pohlenz, *Griechische Freiheit* (ギリシヤ的自由)  
 Montimer. Alban, *The Idea of Freedom* (自由の概念)  
 Nicolai Hartmann, *Ethik; (倫理学) Problem des geistigen  
 Seins* (精神存在の向題)  
 和辻哲郎 倫理学、人格、人類性。  
 三木 清 厂史哲学  
 高坂正顕 厂史的世界。  
 藤田健治 近代哲学原理の崩壊と再興。厂史的世界



